



## 令和7年度のスタートにあたって

校長 佐久間 郁子

校庭の桜が満開の時期を迎える中、4月8日(火)に新任式・始業式、9日(水)に入学式が行われました。1年生54名を迎え、全校児童388名で令和7年度が始まりました。学級数は17です。

新年度を迎えた子どもたちは、新たな希望を胸に、目を輝かせて登校してきました。この子どもたちの思いを大切に、職員33名心新たに「チーム山田」となり、388名の子どもたちを育てていきます。

山田小学校には、学年や学級の枠を超えた縦のつながりである「にじいろ班」があります。「にじいろ班」は年2回の班編制があり、日々の清掃活動や定期的に行うにじいろ班遊びなどで、子どもたちは様々な学年・学級の子どもたちとかかわり、つながりを広げていきます。職員も子どもたち同様に自分の学級にとらわれず、全職員で全校の子どもたちの教育にあたることとなります。また、昨年度から3年生以上で一部教科担任制を導入し、1、2年生でも生活科や体育などで活動によっては学年合同で行い、職員が連携して子どもの指導・支援を行ったり、多面的によさや頑張りを見取ったりしています。

さて、私は始業式と入学式で次のような話をしました。

[始業式] 今日、受け取った新しい学年の教科書を開き、この先1年間でどんな勉強をするのか見通しをもってください。自分の毎日の生活をよいものにするために、しっかり勉強していきましょう。

[入学式] 「まちがえる」ことは、よりよい考えを見付けることです。恥ずかしくありません。

「がながえる」ことで、できなかったことができるようにしていきましょう。

「ふりかえる」ことは、自分の頑なりに気付くことができます。

山田小学校の職員一同、子どもたちとともに頑張っていきたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様、今年度も山田小学校の子どもたちのために、ご協力とご支援をよろしくお願いいたします。